

commissioning tool報告

- 2018/07/09 譲原

daily summary

- https://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/~yuzu/bKAGRA_summary/html/ からアクセスできる
 - user name : コラボレーション名を小文字で
 - パスワード : いつもの

前回ミーティングからやったこと

- スペクトログラムを出すようにした
 - chunk長さは各サブグループの要望に応じて変えてある
- 平均スペクトル(平均化したASD)を出すようにした
- ROOTでのプロットツール(山本くん提供)
 - 山本くん自身がROOT由来のバグを見つけてくれた、修正には少し時間がかかる模様
 - それまでは16384Hzサンプリングのデータをそのままではすべてプロットすることはできない
- frame fileが欠損しているファイルの時刻はすべて0を代入してファイルがあるよう修正した
- frame fileが86400秒間ずっとあるかどうかを調べるようなスクリプトも用意した
 - 計算時間 : 10秒くらい?
- 苔山さんからhtmlソースについて助言をもらった
 - まだ手が回っていない
 - icrrは個人ホームページでcgi使用を許可されていないため、山本くんのhtmlを再現するのは難しい
 - web画面で上にサブグループ名、左にカレンダーを置くというのはiframeを使って再現できそう
- 計算時間メモ
 - 計算機はm31を使用(betelgeuseはROOTが未インストールの関係で走らせられない)
 - 全80channelを7ジョブに分けて走らせている
 - 計算時間的にまだまだチャンネルを増やせる

サンプリングレート+チャンネル名	グラフ作成	計算時間 (時間:分)
16Hz GRD関連のチャンネル	時系列プロットのみ	1:05
2048Hz VIS関連のチャンネル	時系列+平均スペクトル+スペクトログラム	1:05
2048Hz PSL関連のチャンネル	時系列+平均スペクトル+スペクトログラム	1:35

TODO

- 16384Hzサンプリングのデータをプロットするためにダウンサンプルor数点での平均を取る
 - サマリープロットで欲しい情報は全体の傾向やglitchの発生時刻などなので数点間引いても役には立つ
- condorを自動的に走るようにスケジュール化させたい
 - ドキュメントで情報を探す
 - (1000ページ超の14ページまでちら見して眠気に負けました)
- htmlソースをアップデートする
 - まずはサブグループ名を一覧にするようにする(cgiは使えない、iframeまたは他のものを使う)
- (長期的なTODO) 現場の方への普及活動
 - 直接神岡に行って、話を聞く。何が欲しくて何が足りていないか。すぐできるものなら要望に応じてその場で書く

channel list取得関数

- 前回ミーティングからの大きな進展はありません m(_ _)m
- やりたいことはあるので、来週までには結果を出せるようにします

TODO

- KAGALI関数を作成する
 - channel名の入った配列とframe fileを渡すと、そのframe fileにあるchannel名とfileにないchannel名の2つの配列に仕分けてくれる